

子午心集



小さな教会に  
大きなモクレンの



木がありました

小さな鳩は  
クリスチャン



友達でした

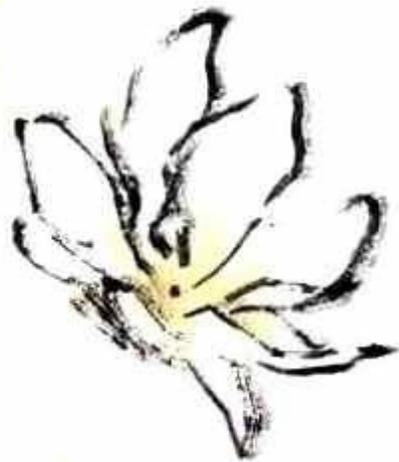


私はどんな園に

咲けるかしら



小さな団のつぼみは  
いつか姉様たりのように



花びらいっぱい  
ひろがって

夏の唄を歌いましょう



お月様に

むかって



お日様に

むかって

ヨシキリニキス

まいたてくださ  
とどけてくださ



白の白に

シヤ  
ふくらんで



夢が想が  
大きくなる



神様  
まいたてくださ

私たちの  
愛の想

想いのたけを  
歌います



よーうー  
最期の旋律と

歌い終えた  
モクレンは

ぼとりと

土に  
かえります



ぼとり

ぼとり

ぼとり

ぼとり



花びらくわえた  
シヨビウが

ぼーと一毒  
なまました



## モクレンの唄

<http://p.booklog.jp/book/130208>

著者：ばーばら

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/barbara29/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/130208>

電子書籍プラットフォーム：パプー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：デザインエッグ株式会社